

(公財)京都市健康づくり協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
----------------	---------------------------

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり、「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成27年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため、業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については、「目標年度」までの方針となる。

業務面	<p>介護予防事業等協会の公益目的事業である中高年齢者の健康保持増進の推進に係るよりきめ細かい取組により、健康保持増進の魅力を実感し、持続的な施設利用につながる種々の事業を行う。このため、広報等の充実はもとより必要な医療機関との連携等も行い、きっかけづくりにとどまらず各種健康教室の充実等必要なフォローアップ体制を充実させる。併せて、関係機関や筋トレボランティア等と連携しながら、健康運動指導士の派遣等により地域での健康づくりの取組にも貢献する。</p> <p>よって、満足度の高い事業推進によるレピーターの拡大を図り、収益の維持・拡大も目指す。</p> <p>また、宣伝活動の強化等により青少年やホテル滞在の外国人等の健康保持増進に係る取組も実施し、収益の拡大を図る。</p>
財務面	<p>協会の持つ専門性を生かした受託事業等の拡大を図るとともに、自主事業等の充実強化により、安定的な収益の確保に努める。</p> <p>併せて、人件費の削減を図るため勧奨退職を行うとともに、賞与の一部削減や給料表の見直し等も行い、諸経費の節減等と併せて、財務の適正化を目指す。</p>
組織面	<p>協会固有職員の一層の能力や資質の向上と責任執行体制の確保を図るため、役員等の事務取扱を減らし、責任あるポストに補職を命ずる等意欲と責任感の向上を図る。ただし、この場合に人件費増に機械的につながらないように配慮する。</p> <p>また、上記勧奨退職の実施と合わせ、アルバイト配備の削減等無駄のない人的配備を行う。</p>
その他	特になし

3 基本の方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本の方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標「質の高いサービスの提供に伴う「利用者数の増加及び収益の維持・拡大」を目指す」

取組内容	<p>高齢化が進む中、健康寿命の延伸に係る関心の度合いは高いものの、実際に各個人が持続的な健康保持増進の取組を実施することはなかなか困難である。</p> <p>質の高いサービスの提供により、一人でも多くの人々がトレーニングジムやプール、あるいは各種健康教室等を利用し、介護予防等に係る取組を楽しく、かつ、長くじっくりと行えるよう支援することは協会の使命であり、健康運動士や医療スタッフ等が連携し、きめ細かい事業を行う。</p>					
○指標1	プール・ジム利用者数					
採用理由	施設利用者の健康に関する関心や取組の満足度をトータルとして表す数値であり、収益の維持・拡大につながるため。					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人/年)
	98,247	99,100	100,000	101,000	102,000	
実現方法	プール・ジム利用者等に適宜お声掛けをし、必要な場合には健康相談等を紹介しながら、それぞれが自らの健康保持増進の取組を長くじっくりと行えるよう満足度の高いサービスを提供する。					
○指標2	定期券購入者数					
採用理由	高齢者割引、夜間割引等中高年に優しい施設利用制度であり、この拡大が市民の健康保持増進の意識の向上の指標となり、かつ、安定的なリピータ増、収益増につながるため。					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人/月)
	456	455	480	500	530	
実現方法	筋トレ教室等の健康教室を受講し、きっかけを掴んだ人や一人でも健康づくりができる人等に積極的にPRし、また友人知人への働きかけ等の協力も求める。					

(2)財務に関する取組

目標「収益の維持・拡大」

取組内容	<p>専門性を生かし、受託事業の拡大や自主事業の充実・強化を図りつつ、財務の一番大きな課題である人件費の削減等に引き続き取り組む。</p> <p>平成27年度は(公財)京都市都市緑化協会との連携により、梅小路公園を拠点とした健康づくり事業を受託するとともに、筋トレ教室等の定員増や回数増を図る。</p> <p>人件費の削減については、年度末に新たに勧奨退職を行い、人員削減の協力を求めるとともに、賞与の一部削減も行う。</p> <p>また、正職員の給与体系の見直しを行い、協会の現状に合った給料表の策定等を行う。また、アルバイトの採用等についても慎重に行い、人員配置を適切に行う。</p> <p>これらの取組により、経常費用の削減について下記の目標値を達成する。</p>					
○指標	経常費用					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：千円)
	-	217,000	214,000	210,000	200,000	

(3)組織に関する取組

目標「職員の能力及び資質の向上並びに職員数の適正化」

取組内容	<p>京都市からの職員の派遣が廃止され、補助金等も一切受けない体制が続く今日、協会固有職員の一層の能力や資質の向上が求められる。</p> <p>平成27年度は、これらの職員の更なる能力や資質の向上と責任執行体制の充実強化を確保するため、遅くない時期に役員等による事務取扱を減らし、責任あるポストに固有職員を配置する等意欲と責任感の向上を図る。</p> <p>また、平成27年度末に勸奨退職の実施により希望退職を求めるとともに、アルバイトを含め適切に人的配置を行う。</p>					
○指標	職員数（常勤）					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人)
	-	14	13	10	10	